

FINE DREAM

WINTER

福岡大学学園通信

2003.12 第4号



昂

◎FD.EYE

学長トークエッセイ

伝統も進取も、創り出すのは学生

◎FD.News

新任学部長に聞く

◎サクセスへ 福大OBに聞く

(社)福岡県薬剤師会会長

小田 利郎氏

◎VIVID NOW

産学連携活動

◎エクステンションセンターシリーズ

エクステンションセンター使える講座

◎SOMEDAY

さあ、世界へ!

◎キャンパスライフ特集

がんばれ、ボランティアグループ





【建学の精神】
思想堅実・穏健中正・質実剛健・積極進取

【教育研究の理念】

「人材教育」と「人間教育」の共存
「学部教育」と「総合教育」の共存
「地域性」と「国際性」の共存

五ヶ村池から望む福岡大学病院本館

F D DREAM

C O N T E N T S

表紙のタイトル
FDIは、このキャンパスで在学生の皆さん一人ひとりが、美しく素敵な夢(FINE DREAM)を育ててくれるようにとの願いを込めるとともに、あわせてFUKUOKA DAIGAKUの頭文字を構成し、愛称として名付けられています。

2 **〈FD. EYE〉**
学長トークエッセイ
福岡大学 学長
山下 宏幸 伝統も進取も、創り出すのは学生



2-学長トークエッセイ

4 **〈FD. NEWS〉**
新任学部長に聞く

6 学園祭グラフィティ

9 第2回 ホームカミングデー開催

〈サクセスへ～福大OBに聞く〉

私のターニングポイント (社)福岡県薬剤師会会長 小田 利郎氏

即断即決、有言実行

**すべてに型破りの好漢が、
福岡県薬剤師会のまとめ役になった。**



10-サクセスへ～福大OBに聞く

13 ◎こんにちは先輩

14 学部長に質問! 商学部長・薬学部長

〈VIVID NOW〉

16 産学連携活動

◎エクステンションセンターシリーズ No.4

18 **エクステンションセンター使える講座**



18-エクステンションセンター

◎福岡大学創立70周年・薬学部開設45周年記念薬学部棟建設募金

20 **寄付申込者ご芳名一覧 第2回**

◎SOMEDAY

22 **さあ、世界へ!**

◎キャンパスライフ特集

24 **がんばれ、ボランティアグループ**



24-がんばれ、ボランティアグループ

◎ななくま通信

26 ・附属看護専門学校戴帽式 ・授業アンケート実施 ・OBの沖野智彦さん司法試験に合格! ほか

28 ◎Fukuoka University Information 学生生活支援



このマークは、大学基準協会が大学基準に適合していると認定した大学に対して与えるものです。

ACCREDITED
2002. 4. ~2012. 3

知ってなるほど

福岡大学物語 第四章

九州経済専門学校の時代

昭和18年10月、戦時の非常措置により文科系の大学・専門学校の統廃合方針が当時の文部省から打ち出された。OBたちの反対もむなしく、福岡高等商業学校の存続は風前の灯火となる。

しかし事態はあっけなく終結した。文部省の予算案が大蔵省によって却下されたのである。ところが、文部省は次に九州専門学校と福岡高商の統合案を打ち出し、九専は福岡高商へ

統合されたのである。新しい学校名は「九州経済専門学校」。廃校こそ逃れたものの、九専の心情を思えば察直に喜べぬ統合であった。昭和19年5月正式に発足。初代校長には後に福岡大学の基礎を築いた花田大五郎が就任した。戦況はいよいよ暗く、本校もまた激しい空襲を受けることになる。その受難の日々は目前に迫っていた。



▲勤労奉仕に汗を流す学生たち。戦争は学問の自由を奪ったが、それでも彼らはいつか来る平和を信じ、日々を過ごしていた。



表紙の写真は九州経済専門学校の校旗。当時の世相を反映し、福岡高等商業学校の校章を外しそこに新しい校章を取り付けた質素な作りである。戦時下、若者たちはこの旗のもと、厳寒に身を仰ぐように自らの果てしない夢や希望を思い描いていた。

写真: 福岡大学大学史資料室

伝 統も進取も、創り出すのは学生

学長に聞く



福岡大学 学長
山下 宏幸

昭和37年宮崎大学工学部機械工学科卒業、41年福岡大学助手となり、43年講師、49年助教授、57年教授。昭和62年12月から平成5年11月まで学生部長、同年12月から11年11月まで工学部長を務め、同年12月学長に就任。平成15年12月学長に再任。学校法人福岡大学専務理事、同評議員、日本機械学会会員、日本伝熱学会会員、エネルギー・資源学会会員、日本熱物性学会会員、空気調和衛生工学会会員。主な社会活動に、福岡県産業・科学技術振興財団理事、九州・山口地域企業育成基金評議員、アジア太平洋センター理事、福岡県青少年育成県民会議会長。専門は熱工学。著書に「工業熱力学(1)」(コロナ社)がある。工学博士。65歳。

校歌こそ福岡大学の、青年期のバイブルです。
どうか折にふれ暗唱してほしい。
私の精神的支えや源泉も
ここにあります。

筑紫野は
玄海の汐ざいはるか
背振ねを指さすと
うつくしきわれらが
道こそはけわれらが
人らしき人にあるべ
輝ける明日を望みて
若き日の今日を学ばん

とうときは
もゆる火の熱きいのち
経世の旗かざらつち
たくましきわれらが
夢こそは大きなわれ
あたらしき土ふしめ
花散らう春には酔わ
ゆたかなる秋を祈らん

かしのほりか
自由なる学のほりか
友情の若草もえりか
讃うべきわれらが
時こそはわれらが
うつろわぬ誠を胸に
ひらけいあう明日を歌わん

品格と夢と誇りと
このたび福岡大学学長に再び選任され、本学の舵取り役を仰せつかりました。責任の重さに胸の震える思いがしますが、さらなる使命感に熱く燃えていることもまた事実です。さて、今後の抱負ですが、基本的には今までと大きく変わることはありません。本学の伝統と発展を支えてこられた歴代学長の偉大な事績と教職員の皆さんの努力に深く敬し、建学の精神と教育研究の理念を遵守しつつ、「変革の時代」に雄々しく立ち向かっていきます。すなわち、伝統の継承と改革の継続ということですが、

「伝統の継承」とは、本学の創立70年の伝統の中で磨かれた建学の精神による首尾一貫した教育研究に対する姿勢の継承であり、「改革の継続」とは特に「全人教育」を強く押し進め続けることだと定義しています。
そのキーワードは「品格」「夢」「誇り」です。特に私は、教育にとって大切なものは「品格」だと考えています。したがって教育の基本は人格的接触といえます。品格はおのずと生じるものであつて、具体的に表すことはできません。品格を備えることや品格を感じ取る眼力を養うこと、これがそが大学の使命であり、教育研究の結晶といえます。

学生は「夢」を持たなければなりません。福岡大学は、夢を具体的な目標に変え、それに向かつてチャレンジする学生を、全学を挙げて応援します。夢は本来あまいものですが、その夢を具体的な目標として定め、そこへ邁進していく努力こそが大切なのです。そのためにはまず、社会がどういふものであり、自分がどういふ人間であるかを知ってほしい。それは学問を通して得ることができます。自分の専門分野についての深い知識と、関連分野での広い知識を修得してほしいのです。さらに、異なる価値観、伝統、制度を持った異質な文化についての理解を深めることも忘れないでほしいと思います。それは皆さんの感性を柔軟にし、国際社会の一員となる資格を与えてくれるでしょう。「夢」を実現するために大切なことは「これから」であり、そのために今「何をなすべきか」「どのように自分を磨くか」なのです。本学は、皆さんのそのような積極的な勉学と思索と行動を、きめ細かく支え応援することを基本理念に「改革」を押し進めていきます。

本学には70年に及ぶ歴史と、19万人を超えるOBたちの人材と、西日本屈指のキャンパスと施設があります。また教職員が築き上げた良きシステムがあります。全国に冠たるスポーツの実績や薬剤師国家試験合格率全国一位、医師国家試験合格率全国私立大学29大学中3位に象徴される学問の成果があります。そして、数字や実績では表現し得ない「確かな個性」があります。皆さんは大学の4年間および6年間でそのことを感知し、その一つひとつに「誇り」を持つてほしい。やがて皆さんが巣立つ大学への誇りは、すなわち人間としての誇りとなるのです。

最後に、福岡大学の校歌を挙げておきます。この校歌こそ福岡大学の、青年期のバイブルです。どうか折にふれ暗唱してほしい。私の学長としての抱負や情熱の源泉もここに
あります。

新役員紹介

学部長以外の役職員も新たに決定しましたので、皆さんに紹介します。



副学長
新聞 輝夫教授 (法学部)



副学長
衛藤 卓也教授 (商学部)



副学長
菊池 昌弘教授 (医学部)



事務局長
景山 和幸



教務部長
酒井 健治郎教授 (人文学部)



学生部長
中原 一教授 (スポーツ科学部)



図書館長
池上 龍太郎教授 (人文学部)



研究推進部長
宮本 康彦教授 (理学部)



第二部主事
石上 悦朗教授 (商学部)



福岡大学病院長
白日 高歩教授 (医学部)



福岡大学筑紫病院長
田中 彰教授 (筑紫病院)

更なる発展へ再任学部長の新決意

今回の選挙で再任された経済学部・理学部・工学部・医学部の各学部長に、新たな決意を聞きしました。

経済学部 Faculty of Economics



芹澤 数雄教授
KAZUO SERIZAWA
横浜国立大学
一橋大学大学院
専門:金融論 55歳

これからは百年、千年の長期的視点が重要な時代です。単なるナンバリングではなく意味のあるナンバーを、単なる生き残りではなく、価値のある生き残りが求められる時代です。この時代を反映して私は人間性を尊重を基本にした学部運営を志したいと思います。

理学部 Faculty of Science



脇田 久伸教授
HISANOBU WAKITA
東京農工大学
東京教育大学大学院
専門:分析化学 61歳

理学部は、科学の応用だけに主眼をおくのではなく原理の根底からの理解を重視します。化学の基礎を知っていることが広い視野での応用の可能性を生み、急速な科学の進歩に適切な対応ができるのです。この視点からの教育を受けた人材はこれからますます期待されると考えます。本格的な理学部の教育と研究に従来以上の熱意で取り組んでいくつもりです。

工学部 Faculty of Engineering



大和 竹史教授
TAKESHI YAMATO
九州大学
九州大学大学院
専門:コンクリート工学 60歳

昨年の工学部創立40周年記念事業は、学生、卒業生および地域社会に貢献すべく工学部を充実させるために何を実行すべきかを話し合い考える良い契機になりました。今後は教育プログラムの準備ができた学から、JABEE(日本技術者教育認定機構)などの認定申請を順次行っていく予定です。

医学部 School of Medicine



満留 昭久教授
AKIHISA MITSUDOME
九州大学
専門:小児科学 64歳

わが国の医学教育は急速に大きく変わりつつあります。本学医学部・病院も今後さらに教育だけでなく、研究、診療などすべての面で確固たる地位を維持できるように、教職員も含めて自己に厳しい改革を推進していきたいと考えています。

人文学部 Faculty of Humanities



山中 博心教授
HIROSHI YAMANAKA
PROFILE
鹿児島大学
九州大学大学院
専門:ドイツ文学 54歳

今、人間関係は便利な機械や道具の発達のために希薄になっています。効率と無駄を省くことだけが尺度となり、言葉は「含み」のない記号となり、人間の息吹が感じられなくなっています。「考える」と「感じる」ことがひとつになった文化や歴史を背景にした人文学のあり方が問われています。そんな時代にあつて、今やならなければならないことは次の3つです。
① 継続審議中の「外国語学部」の増設。
② 福岡大学の教育理念に照らし学生のニーズに応えるため、教える側の「教育力」の向上。
③ 改革のための正確で信頼できる情報の公開。私はその実現に尽力します。

商学部 Faculty of Commerce



川合 研教授
KEN KAWAI
PROFILE
大阪市立大学
大阪市立大学大学院
専門:世界経済論 55歳

商学部は平成16年度から昼間部(第一部)ともカリキュラムが大幅に変わります。昼間部はゼミナールが従来より半年延長され、2年次後期から始まることになりました。ゼミでの少人数教育がより充実し、教員による学生の指導がよりきめ細かく行えるようになったわけです。また、第二部はコース制を採用することによって、各人の関心に応じた体系的な科目履修が可能になったと思えます。新カリキュラムが順調に機能し、学生諸君の向学心に十分応えることができるかどうか、私の最大の関心事です。

スポーツ科学部 Faculty of Sports and Health Science



田口 正公教授
MASAHIRO TAGUCHI
PROFILE
東京教育大学
専門:スポーツバイオメカニクス 60歳

スポーツ科学部はスポーツ科学、健康運動科学科ともスポーツ運動を科学し、科学を実践に生かすところに共通した特性があります。さらにこの両方を高め、相互が高度に機能する学部づくりを目指します。そのためには、カリキュラムの改編とさらなる授業改革が必要になります。FD(フアカルティティ・レポート)を推進し、高度な科学的知識と専門性の高い指導能力を身に付ける教育システムの構築に取り組めます。また、社会とのコラボレーションを積極的に推進し、実践に即応した指導能力の養成に努めます。学部生の皆さんも自らの能力向上を図るために「限界への挑戦」を試みて下さい。

FD.NEWS

新任学部長に聞く

福岡大学は、去る10月19日に任期満了に伴う学部長選挙を行い、人文学部・法学部・商学部・薬学部・スポーツ科学部の各学部長が新たに選出されました。そこで、意欲に燃える新任学部長に緊急アンケートを行い、抱負など新鮮な意見をいただきました。

法学部 Faculty of Law



屋宮 憲夫教授
NORIO OKUMIYA
PROFILE
上智大学
上智大学大学院
専門:経済法 49歳

平成16年4月の法科大学院開設に伴い、本学での法学教育は、主に学部と法科大学院の両機関により担われます。新たな学部教育の効果的な構築のために、まず、優秀な専任教員の補充を進め、必要かつ適切な教員数を確保することが急務です。その上に、教員が質の高い教育を行える教育・研究環境を整備すること、自主的・自発的な教育の提供と受容を促進すること、やり甲斐のある教育の枠組み・能力の向上が実感できる勉学の枠組みを常に模索すること、教員と学生が相互に尊び重んじ合える、大学らしい学究的環境、ゆとりある知的共同体といえる環境を促進することが目標です。

薬学部 Faculty of Pharmaceutical Sciences



藤原 道弘教授
MICHIMIRO FUJIWARA
PROFILE
福岡大学
九州大学大学院
専門:応用薬理学 60歳

薬学部は平成16年度から薬学科を医療薬学科に、製薬化学科を生命薬学科に変更いたします。医療薬学科については医療法・薬事法・薬剤師法改正により、薬剤師が医療の「翼」を担う職種であると明確に位置付けられたことを受けたものであり、また生命薬学科は人々の生命・健康に関する多面的な知識・技能を持った薬剤師を育成する現在のカリキュラム内容を明確に反映するためのものです。さらに薬学部棟建設も始まりました。私は薬学部をこれまで発展させてきた諸先輩方の精神と情熱を受け継ぎ、より良い学部づくりに邁進する覚悟です。



▲鶴瓶氏の軽妙なトークで笑いと熱気に包まれた講演会



◀831教室での笑福亭鶴瓶氏による特別講演会

▼慣れない手つきで一生涯クッキング。売れるといいなあ



◀お祭り広場特設ステージでは楽しいクイズイベントなども



◀落語研究部による寄席は七隈祭の定番



七隈祭 雅祭 医学祭 楓祭

学園祭グラフィティ

みんなが燃える、みんなで感動する
年に一度のビッグイベント・学園祭。

今年も10月29日から11月3日まで、七隈祭・雅祭・楓祭・医学祭が本学の広大なキャンパスで華やかににぎやかに行われました。忘れることのできない一つひとつのシーンを、誌上で楽しみください。

テーマ「情」

七隈祭

10月29日(水) ▶ 11月3日(祝)

10月29日、セップクオカでの前夜祭から始まった七隈祭。30日の恒例市中パレードを経て、いよいよ本番開始。31日から本学キャンパスで展示発表、ステージ企画、模擬店など盛りだくさんの催しもののにぎわいました。また、11月1日には ART STAGE(文化祭)や笑福亭鶴瓶氏による講演会も。11月3日の後夜祭の盛り上がりも印象的でした。



▲一般の来場者とのふれあひも七隈祭の楽しみ



▲プロのお笑い芸人も出演した「特別ゲストライブ」



▲夜に入ってもステージの熱気は晩秋の寒さを忘れそう



▲ステージでは楽しい企画がつつぎに



◀フィナーレを飾るファイアーストーム

テーマ
「雪崩れ式DDT～さらなる高みへ～」

雅祭

10月31日(金) ▶ 11月2日(日)

10月13日の前夜祭で始まった5回目の雅祭。31日からは展示発表、ステージ企画、特別企画、バザー、模擬店など催しものがいっせいに始まりました。人気を呼んだのは「あんたがチャレンジャー」や「ミス雅祭」など独自の企画。また「歌の採点」も多くの来場者をつかんでいました。圧巻だったのは11月2日の後夜祭。雅祭ならではのフィナーレでした。



◀ミス雅祭コンテストで熱闘を披露する美女たち

◀ヘリオスプラザ横のお祭り広場特設ステージでのART STAGE(文化祭)



▲恒例となった特設ステージでの野外結婚式



◀器楽部のロックンロールライブ▶



第2回 ホームカミングデー開催 11月3日(祝)

卒業生みなさんに母校にお集まりいただき、現在の大学の姿を紹介するとともに、大学との絆をなお一層深めていただくためホームカミングデー(卒業生の集い)を開催しました。



▲朔啓二郎医学部教授による「動脈硬化と心臓病」の講演



▲山下学長によるあいさつで開会



在學生を代表して
学友会総務委員長の
小野陽菜さん(法学部3年)が挨拶



▲福岡大学交響楽団によるコンサート



▲河井田副学長の音頭により乾杯

▼懐かしい写真に見入るOBの皆さん



◀OB・OGの間に
懇談の花が咲いて



七隈祭 雅祭 医学祭 楓祭 学園祭グラフィティ

来年も
張り切って
いこうぞ。



▲医学展で、人体模型を熱心にのぞきこむ来場者

医学祭

10月31日(金) ▶ 11月3日(祝)

11月2日の「命にける情熱～老人医療の最前線～で働く医師と介護士～」と題された特別講演はタイムリーなテーマで内外に大きな反響。その他、楽しいLIVEやファッションショー、大ビンゴ大会にも大勢の観客が集まりました。A棟7階での医学展は、医学祭ならではの催しと、人気を呼んでいたようです。



▲爆笑を誘ったLIVEショー



▲模擬店はなにより自分たちが楽しむことに意義がある?



▲医学展でのディスカッション風景



▲子どもたちもたくさん集まったバザー



◀来場者を出迎えるのは
にぎやかに描かれた黒板



手作りの食べ物が
評判を呼んだバザー

テーマ「FUNS!
サブテーマ「楽しいことがいっぱい!」

楓祭

11月2日(日) ▶ 4日(火)

11月2日から開催された附属看護専門学校の楓祭。文化の部のバザー・研究発表などにぎわいました。特に4日に本学医学部第2中講堂で行われた茅野 明氏(社団法人かぼちゃの国カントリーワークばんぶぎん代表)の一人芝居「冬の銀河～エイズと共に生きる～」は楓祭ならではの文化行事として好評でした。



血圧測定など気軽に受けられる
健康チェックも人気のイベント

即断即決、有言実行

すべてに型破りの好漢が、福岡県薬剤師会のまとめ役になった。

薬剤師の可能性を広げる先導を務める
(社)福岡県薬剤師会会長・小田利郎氏



profile おだ・としろう

1973年福岡大学薬学部卒。
外資系の薬品会社を経て、80年に独立、(有)オダ・ファーマシーを設立。86年(社)福岡県薬剤師会社担任理事。95年(社)北九州市薬剤師会理事。01年(社)小倉薬剤師会副会長。02年(社)福岡県薬剤師会会長に就任。薬剤師全体の未来を見据え、数々の施策を積極的に推進している。

2002年初春、入院中の恩師の一言で決断する。

まさしく青天の霹靂^{かみなり}だった。
俺が会長の器なのか。
しかし入院中の恩師は一言
「やるべきだ」。
となればもう迷わない。
小田は即決した。

運命が
彼をメインステージへ
突然に押し上げた。

2001年の秋も過ぎる頃、福岡県薬剤師会は大きく揺れていた。当時の会長が病気で入院。以降の職務遂行は無理と辞職する。早急に次期会長を選ばなければならない。当時、小田は専務理事。会長は選挙で選ばれる。北九州・福岡・筑豊・筑後の4ブロックの代議員が会長候補を推薦し代議員が投票する。通例ならば会長候補には副会長が推薦される。ところが思いもかけぬことが起こった。4ブロックの代議員がそろって推薦したのは、小田だった。「なんで俺が...?」彼はとまどう。即断即決を旨とする男が迷う。思いあまって古くから彼の良き理解者である恩師に相談した。恩師は入院していた。病院のベッドで彼の話の話を聞く。恩師は即答した。「やるべきだよ、小田君」。

それで腹は決まった。妻にも相談したが、その時はもうやることに決めていた。それからしばらくして恩師が亡くなる。葬儀の席で涙にくれながら小田は思った。俺のターニングポイントには、いつも強く後押ししてくれる人がいるなあと。



相手を和ませる屈託のない笑顔が小田の魅力のひとつ

刑事ドラマで見た鑑識の仕事にあこがれ薬学部に入學するも薬剤師になる気なし。

小田利郎は1948年に北九州市小倉北区で生まれた。父は度量衡の店を経営していた。「要するに、はかり屋ですよ」。その父は中学の時に亡くなったが、影響もあつてか大学の工学部を目指した。現役で福岡大学工学部電気工学科に見事合格したが、どうも通う気になれない。京都が東京の大学に行きたかったのである。思い切つて浪人。その後、京都の予備校に入ったがあこがれていた町で大いに遊んでしまう。浪人1年目は受験に失敗。「見事にひとも受からなかった(笑)」。この浪人時代に心の変化があった。「七人の刑事」というTVドラマで警察の鑑識課の仕事を知り、薬品への興味を持ったのだ。もう1年頑張ってみるか。それでも志望校は東京の大学の理学部化学科だった。しかしある偶然が小田の進路を変える。2浪めの早春、違う大学を受験していた東京

で福岡大学薬学部の地方試験が行われていたのだ。試しに受けてみるか。この「試しに」が運命だった。4月、福大薬学部に彼の姿があった。

大学時代、真面目に勉強した記憶はほとんどない。大学近くの麻雀屋で毎日のように牌を握っていた。麻雀をしていなければ長距離のトラック運転手などのアルバイトに励む。それでも4年間で卒業できたのは同級生だった女子学生のおかげだ。彼女は小田とは対照的に勉学に励み卒業と同時に薬剤師になっていた。大学での試験のたびに小田の面倒を見ていた彼女は、卒業後も現在に至るまで小田の面倒を見ていた。つまり二人は結婚したのである。薬剤師になることなどまったく念頭になかった彼は、外資系の製薬会社に就職した。

薬剤師へ、薬局経営へ。
二人の間が彼のターニングポイントを強く後押しした。

外資系の製薬会社勤務はそれなりに楽しかった。もともと人が好きで話しをするのが好きなのである。このまま俺はプロパーとして一生を終えるのかもしれない。そう思い始めた矢先、運命はまた大きく変転する。大学の同級生だった彼女との結婚を真剣に考え初めていた。二人の気持ちは決まっていたが、周囲はそう簡単にはいかない。特に彼女の両親は「妻がそんなのだから夫も薬剤師じゃないと釣り合いが」と言い出す。至極当然の言い分だがこれには困った。なんとか結婚にはこぎつけたものの、妻の実家はその後薬剤師に、という希望を捨てきれないようだった。ある日、突然決断する。やっつやうか。それから妻とマンツーマンで猛然と勉強したらしい。らしい、と言葉を濁すのは照れ屋の小田が、そのような自分の苦勞話をしたがらないからだ。

卒業後、製薬会社に就職するも上司とケンカして退職。生家の近所に薬局を開く。現在の薬局



薬局開局時のスタッフたちと。話好きでフランクな人柄の彼の周りには、いつのまにか人が集まってくる



工学部志望だったのが、ひょんなきっかけで福岡大学薬学部。小田のターニングポイントには常に運命の偶然がまつまわ

※プロパー＝製薬会社の営業社員

そのために必要なものを考える



藤田 領さん
薬学部 2002年卒業
三菱ウェルファーマ株式会社

これからの製薬企業の状況を踏まえて、ある程度規模が大きく、競争力のある会社を志望していました。大学院に進学したために与えられた研究テーマに集中していましたが、就職のためのアクションといえどどの会社がどんな薬を販売しているかなどの企業研究をしたくらいですね。面接では今までにどんな事に興味を持って勉強してきたか、将来はどんな事をしたいのかを正確に話したつもりです。在学生に対するアドバイスですか？将来どんな仕事をしたいのか、そのためには今、自分に必要な勉強、経験、知識が何かを考えてほしいと思います。

あこがれのままで終わらせない



関 妃都美さん
人文学部 2003年卒業
株式会社ジャルスカイ九州

家が福岡空港に近く、航空業務に小さなころからあこがれていました。そのあこがれをずっと持ち続けて、学科も航空関係に必須の英語学科。TOEICや英検準1級も取得しました。在学中はオーストラリアに語学研修、アルバイトも空港内のウエイトレス。徹底してますよね(笑)。とにかく、あこがれをあこがれのままで終わらせたくありません。1,000人中15人採用という狭き門をくぐれたのも、この気持ちの持続だと思います。今、キャビンアテンダントとして管制センター業務を担当しています。大変ですけど充実感にあふれた毎日です。

こんにちは先輩

今しかできないことにチャレンジする



吉野 智子さん
経済学部 1999年卒業
株式会社サンリオ

就職活動に行き詰まったころ、就職課で「サンリオ」のファイルを見つけて。子どもの時にキティちゃんが好きだったのを思い出し、企業のホームページを開いたのがきっかけでした。企業理念に共感し、キャラクターを見て温かい気持ちになったのを覚えています。それからサンリオ一直線。面接に際しては大きな声で子どもに会った時のような自然な笑顔を心がけました。大学の時から「今しかできないことにチャレンジする」ことを目標にしています。サンリオへの就職は、まさしく「今だけ」のチャレンジだったような気がします。

何に熱中したか
どれだけ熱中できたか



松本 淳平さん
体育学部(現スポーツ科学部) 2001年卒業
株式会社アステム

テニス部で4年間一生懸命練習してきました。主将も務めさせていただいて、私の大学生活はテニスに尽きるという感じですね(笑)。将来は医療業界の営業をしたいという気持ちでずっとあって、今の仕事には満足しています。面接でもテニスのことばかり話していたような気がします。自信を持って言うことをアピールするのが一番ですよ。うそや見栄で言ったことは絶対に見抜かれますから(笑)。大学生活で何に熱中したか、熱中できたか。それが決め手になると思います。後は、説明会だけでなく、実際に就職している人に話を聞くことですね。

SUCCESS

講演中の小田。福岡県薬剤師会会長としてはもちろん、ユニークな経歴や個性に裏打ちされた講演には定評がある



「まあ適当にばちばち頑張っただけ」。薬剤師の資格を持ったプロパー。鬼に金棒である。前途は洋々のはずだった。ところが運命はもう一度変転する。上司との折り合いが悪く、大喧嘩をしてしまったのだ。好漢はそのような状況で妥協をしない。遂に会社を飛び出してしまった。こうなれば独立して薬局設立である。今から思えば上司はまっすぐくない人だった。当初から恨みなどはなかった。ましてや福岡大学薬学部の先輩である。会えばさりと挨拶する。その彼も他界したが、小田とはそういう漢(おとこ)なのである。それにしても、と思う。薬剤師になった時の妻、薬局を始めるきっかけになった上司。俺のターニングポイントには、いつも強く後押ししてくれる人がいる。

異業種交流を好む
ユニークな薬剤師。
薬局の小さな世界では
どうしても飽きたりしない。

1980年5月(有)オダ・ファーマシーが設立された。第1号店は上富野調剤薬局。小田の生まれた町である。会社を辞めて散歩をしていた時、偶然見つけた空き家を改造したものだ。当初は苦しかったが、やがて友人たちが助けてくれるようになる。小田の幼友達は秀才が多かった。実は浪人時代に京都に行った理由には、その秀才たちが京都の名門大学に入学していたこともあったのだ。その秀才たちが医師となり帰郷していた。彼らが院外処方箋を発行してくれるようになったのだ。家業は順調に進展した。しかし、小田はその状況に飽きたらなくなる。薬剤師はプロフェッショナルである。その誇りも高く、他業種の人間とは打ち解けない職能家タイプが少なくない。彼は違っていた。異業種交流を好む。プロパーの経験が長いから話し上手で聞き上手である。そんな彼の性格を周りが認め、だんだんと薬剤師会の仕事をこなすようになっていた。やりがいのある仕事である。夢中でこなすうちに、いつのまにか現在の地位にまで登りつめていた。周囲が小田をここまで押し上げた。ターニングポイント→後押ししの法則である。

最も薬剤師らしからぬ
薬剤師が、未来を見据える。
紆余曲折の人生経験が
波乱の中で確かな舵を取る。

今、薬剤師は重大な岐路に立っている。薬品をコンビニで販売しようという動きもある時代だ。薬剤師の存在価値が問われている。一方、

妻は大学時代の同級生。小田はこのパートナーと家族を
なによりも大切に思っている



在宅福祉や医薬分業が本格化し、薬剤師の質もより高くなるなければならない。福岡県薬剤師会は、この波乱の時代の舵取り役に小田を選んだ。即断即決、有言実行。ざつとばらん性格、細かな気の配り、はっきりとした裏表がない態度。福岡大学生の良き気質を一身に具現したような好漢は、今日も全国をエネルギーギンギンに飛び回る。「やらなきゃいかん時は、やるんだよ」。真摯な目は、未来をまっすぐに見ている。



福岡大学薬学部は、全国でもナンバー1の薬剤師国家試験合格率の実績を持つ名門です。現役学生のみなさんはそのことに誇りと自信を持って、業界の中で積極的にリーダーシップをとっていただきたい。周囲も福大薬学部にもそのことを期待しているのです。また、福大生全般に申し上げたいのですが、最近の学生はどうも自己中心的でいただけでない。人に奉仕する、社会に貢献するという気持ちを常に忘れずにいてほしい。福岡大学生の気質はよく質実剛健、熱い気概といわれますが、それも最近だんだんと薄れていこうで残念でなりません。特に男子学生諸君、もう一度福大生気質を！ そう願わずにはいられません。



大学時代の小田。薬剤師になる気もなかったころ

元気な活動は健康から。君をサポートします。
健康管理センター

小田利郎氏は薬剤師の立場から、また会長としての経験から、健康がなによりの基本と話しておられました。健康管理センターは、全学生を対象に毎年定期健康診断を実施するほか、臨時検診も行っています。また、健康相談をはじめ肥満対策、診療、救急処置、投薬、血圧測定なども行い、病気の予防や早期発見に成果をあげています。また、一昨年からは、診療所として内科全般の治療も行っています(診療日:月～金)。皆さんの健康な生活をサポートする施設です。



▲福岡大病院の専門医師がしっかりとサポート

質問！学部長に

学問のことからプライベートまで、さまざまな質問を投げかけて学部長の本音を聞いていくインタビュー特集。今回は商学部長と薬学部長にアタック！両学部長は今回の改選により新たに就任したばかり。パーソナリティーを知る良い機会となりました。

学部長に質問！

薬学部長 **藤原 道弘** 教授

商学部長 **川合 研** 教授

Faculty of Pharmaceutical Sciences



薬学部長 **藤原 道弘** 教授

福岡大学
九州大学大学院
専門:応用薬理学 60歳

福大生へのメッセージ

マハトマ・ガンジーの次の箴言を贈ります。
「七つの社会的大罪」

- 1. 理念なき政治
 - 2. 労働なき富
 - 3. 良心なき快樂
 - 4. 人格なき学識
 - 5. 道徳なき商業
 - 6. 人間性なき科学
 - 7. 献身なき信仰
- ガンジーの碑文にはこの言葉が刻まれています。これは人類への普遍的問いかけです。

学部長が好きな音楽(曲)はなんですか
川合 沖繩の島唄が好き。哀調を帯びた旋律が昔懐かしい気持ちにさせてくれます。
藤原 ジャズ。それから娘たちの影響でクラシックのピアノ曲。
学部長の思い出の映画はなんですか
川合 小学生の時に見た「二十四の瞳」。子ども心に泣かされました。

Faculty of Commerce



商学部長 **川合 研** 教授

大阪市立大学
大阪市立大学大学院
専門:世界経済論 55歳

福大生へのメッセージ

何でもいいですから、学生時代に打ち込めることを一つ見つけてください。見ついたら純粋な気持ちでアタックしてみる。じっくりと取り組んでみる。それがうまく行かなくてもいい。自分が納得できればいいんです。そこでの達成感が、卒業後の皆さんの人生の糧になることでしょう。

学部長にとって「商学・薬学」とはなんですか
川合 現代の複雑な社会の仕組みを理解する手がかりだと考えています。
藤原 化学を知った医療人、薬の専門家、プロ意識を持った集団を育成する学問です。
どんな人(性格)が「商学・薬学」に向いていると思われませんか
川合 強い言葉、何事に対しても旺盛な好奇心を持つ人。
藤原 人が基本的に好きな人かな。薬剤師も患者さんやお客さんとの会話が、これからますます必要ですから。

福岡大学商学部・薬学部のいちばんの特徴はなんですか
川合 理論から実務まで幅広く学べることが商学部の長所です。今後は新しい学問分野もカリキュラムに取り込んでいきたいですね。
藤原 わが薬学部は国家試験合格率で良い社会が少しでも実現すれば、それが社会的な貢献になると思います。
藤原 健康増進法が法律化されいよいよ健康に対する人々の関心が高まっています。また、在宅医療の本格化で薬剤師は医師に近づいていると言えてるでしょう。これからは薬に関する不安や悩みの相談に乗る薬剤師、OOL(クオリティオブライフ)を大事にする薬剤師でなければ社会に貢献できません。

「商学・薬学」を学ぶのにいちばん大切なことはなんですか
川合 社会や人間に対して関心を持つことだと思います。
藤原 自然から何かを学びとろうという姿勢が大切だと思います。
学部長が最も尊敬する偉人を一人あげてください
川合 どのような分野でも革新的な理論や思想を生みだし、世界の見方を一変させた人は偉大で、尊敬します。一人に絞るのは難しいですね。
藤原 思想家・陽明学者の安岡正篤。

藤原 フェテリコ・フェリーニの「道」。ニーノ・ロータによるテーマ音楽がまた良くてね。
もし1カ月休みがとれるとしたら何をなさいますか
川合 20年ほど前に1年間滞在したアメリカのセントルイスにも一度行きたい。
藤原 私を導いてくださった4人の恩師の墓参り。それからカウベルの手入れ(笑)。
人生で最も影響を受けた書物はなんですか
川合 「水滸伝」。何度も繰り返し読みました。
藤原 司馬遼太郎著の「坂の上の雲」と「竜馬がゆく」。
どんな女性がお好きですか。タイプでも具体的な名前(女優など)でも結構です
川合 連想ゲームに出ている頃の塚ふみ。清楚で知的な感じが良かった。
藤原 多岐川裕美。若い人は多分知らないと思う(笑)。
好きな食べ物は何ですか
川合 果物ならなんでも好き。
藤原 むらさきも。わりがにで焼酎を飲む(笑)。
昔の福大生と今の福大生、変わったところはありますか
川合 昔に比べると元気な女子学生が増えたなあ。男子学生もつがんはつて(笑)。
藤原 20年前まで男子学生はバンカラで汗くさい感じだった。今は清潔ですっきりしてるけど、それがいいことかどっか…。

全国1位の実績を持っています。これがなによりの特徴であり、誇りです。

学部長が試験の判定に留意している点は何ですか
川合 設問の主旨に的確に答えているかどうかを重視しています。

藤原 文章が整っていること。うまいという意味ではなく、よく勉強し深く理解している人の文章は美しく整っているものです。

学部長はどんな学生が好きですか
川合 優しくてしんの強い学生。

藤原 独立心が旺盛で、バランス感覚のある学生。

学部長の趣味は何ですか
川合 散歩と、絵画鑑賞かな。

藤原 カウベルの収集。カウベルとは牛の首に付ける鐘のこと。いろんな音がして面白いんですよ。

学部長が好きなスポーツは何ですか
川合 自分ではあまりしないけど、プロ野球を見るのは好き。最近は大リーグも。

藤原 空手ですね。ずっと空手部の部長をしてました。

学部長は休みの日、どんなことをしていますか
川合 本を読んだり、テレビを見たり、いたって平凡(笑)。たまに料理もつくる。

藤原 家族サービス(笑)。4人の娘と妻といっしょに食事に出かけたりね。

学部長の座右の銘を教えてください
川合 うーん、特にないなあ。

藤原 「禅定」。動く寸前の力を溜めている状態のことです。揺らぐず、乱れず。最高の状態を指す言葉ですね。

インタビューを終えて

学部長職の責任の重さとやりがい、職務への情熱を語ってもらった二人の新学部長。誌面の都合で掲載はできませんでしたが、これからの行動でその思いは十分に伝わっていくと思います。このインタビューを読んだ君が、今度は両学部長に直接アタックしてください。「学部長に質問!」その質問が有意義なものであれば、きっと熱心に答えていただけるはずです。

【商学部】 福岡大学で 最も古い学部

商学部の前身は福岡高等商業学校。福岡大学の母体となったこの学校は昭和9年(1934年)に設立されました。商学部は長い歴史の間に多くのOBを輩出し、各分野で幅広く活躍しています。実社会との強く深く広いつながりが、商学部のなによりの財産です。

【薬学部】 密度の濃い オムニバス講義

1年次の「薬学概論」、4年次の「総合薬学演習」は、病院薬剤部・薬剤師会・製薬企業・行政機関などで指導的な立場にある本学部卒業生を講師に招いて行われるオムニバス形式の授業。地域社会と連携したユニークな講義です。



福岡大学技術交流会が、11月26日日本学文系センター棟第4会議室をメイン会場として開催されました。当日は山下学長の開会あいさつと、櫻井精技(株)代表取締役 櫻井一郎氏による「大学の知を活かす」私の産学連携への挑戦」の基調講演があり、続いて、本学から「電気」によって粘性が変化する流体の科学と応用(称宜田啓史理学部教授)、「地震対策としての免震・制振構造(高山峯夫工学部建築学科助教授)、「風力発電装置の空中支持法に関する開発研究(江崎丈巳工学部図学教室教授)の3人による研究テーマの紹介があり、企業から「磁性体水処理について(鎌田ハイオ・エンジニアリング(株)代表取締役社長 鎌田博文氏)、「未踏の超音波共振力を応用した精密超音波加工機(株)岳将代表取締役 岳義弘氏)、「水質浄化微生物菌をセメントベースに封入したエコバイオンロック(コヨウ(株)代表取締役 古賀雅之氏)、「小径精密研削ヒンの加工技術について(株)ワークス代表取締役 三重野計滋氏)、「高精度セラミックシートの電子デバイス

1 山下学長による開会のあいさつ
2 櫻井一郎氏による「大学の知を活かす〜私の産学連携への挑戦〜」の基調講演
3 熱心に聞く参加者。質疑応答を交えた活発な議論も行われた
4 展示コーナーでは本学の研究開発事例と企業の研究開発事例・製品等の紹介が
5 展示コーナーでは研究関係者が説明。熱のこもった議論も
6 研究テーマの紹介風景

スへの応用(型ラズマディスプレイ) (株)ノリタケカンパニーリミテド開発・技術本部部長 阪本進氏の5人の方による研究開発の紹介があり、参加者との質疑応答を交えた活発な議論が行われました。

また、展示コーナーでは「光触媒タタア水溶液とチタニア/シリカペースの紹介(中野勝之工学部教授)、「ニコニコベース運動―生活習慣病の予防・治療、高齢者の介護予防と健康増進の支援システムの紹介(田中宏暁スポーツ科学部教授)、「ベンチャー起業論における上海交通大学との技術移転プロジェクトについて(阿比留正弘経済学部教授)などのブースごとに本学および企業の研究開発事例・製品等の紹介が終日行われ、参加者は深い興味を示していました。

第5回 福岡大学技術交流会

11月26日

本学による産学連携事業として開催



知を深め、知を広げる。

我が国は2002年に、産業の国際競争力を高め経済活性化を目指す「知的財産立国」の方針を打ち出しました。大学はその役割を担う重要な存在と位置づけられ、福岡大学でも「知」の資産を社会に還元するべく、その一環として「研究推進部」を核にした産学連携活動に積極的に取り組んでいます。

競争力を備えた研究の推進や支援のために

福岡大学では、2001年に「総合研究所」を組織改編して「研究推進部」を設置しました。21世紀の大学の発展を目指すには、各分野の研究の急速な進展を支え、さらに産業界からの要請にも対応できる競争力を備えた研究の推進や支援体制が必要と考えたからです。研究推進部では、現在、総合科学・人文科学・社会科学・理工学・生命科学の5つの研究部に設置された学際的な共同研究チームによる研究活動や企業との共同研究などの産学連携を推進しています。さらに現在は、学内だけでなく北九州市と大牟田市に産学連携推進室を置き、そこに担当の教授を配置するなど学外へも活動の範囲を広げています。また、今年7月には大牟田エコタウンで産学連携交流会を開催しました。地元企業と本学研究者とのマッチングを図り、福岡県産炭地域新産業創造等基金事業で行われる産学官等連携研究開発事業に応募し、4件が採択されました。

産学連携コーディネーターの派遣を受けて

しかし、企業ニーズと研究技術シーズ(種)のマッチングがうまく行かなければ、折角の研究

究技術も社会貢献という花を開くことができませぬ。本学ではその橋渡し役として文部科学省から「産学連携コーディネーター」として丸山隆興氏の派遣を受け、連携事業に積極的に取り組んでいます。コーディネーターはプロ野球の世界でいえばスカウトの役割。将来性のある選手を各地からスカウトしてプロの世界で通用する選手に育て上げるように、さまざまな本学のシーズを開花させるために、丸山隆興氏は活躍しています。

知の創造と知の普及を本格的に推進していく

大学の役割は「知の創造」を継承し、社会に普及させていくことです。大学はこれまでどちらかといえば学究的で、社会の動きに背を向ける傾向が見られました。しかし、今後は時代の変化、社会の要請に柔軟に対応できるよう、本学教職員の意識改革も図っていかねばならないでしょう。かといって産学連携を急ぎすぎて基礎研究がおろそかになっては、長い目で見てさまざまな社会の発展にマイナスになりかねません。このバランスを常に考え、より良いかたちで「知の普及」を進め、これも「研究推進部」の大きな役割のひとつと考えています。

福岡大学研究推進部
産学連携コーディネーター 丸山 隆興



理解する、発掘する、組み合わせる仕事です。

私の仕事は、研究開発に携わっている先生方の気持ちを知ることから始まります。次にその研究開発の本質をじっくりと理解する。それが社会にどう普及し、どう貢献するかその可能性のシーズ(種)を発掘していくのです。そして外部(企業などの)ニーズを探り、最も理想的なかたちでシーズとニーズを組み合わせていく。そのためには技術交流会の開催やシーズ集の編さん、さらに特許権の明解な解決など、やるべきことは山ほどあります。前途はなかなか険しいものですが、福岡大学のために精一杯力を尽くしたいと思います。

エクステンションセンター 使える講座

シリーズ第4回目。
エクステンションセンターの基本的な仕組みや魅力は理解いただけたと思います。
今回はいよいよ実践編。
エクステンションセンターの講座を紹介しましょう。

新エクステンションセンター長に聞く

じっくりと議論を重ねて探りたい
確たるアイデンティティと可能性

12月1日をもって新エクステンションセンター長に本田知宏工学部教授が就任。早速、これからの抱負などを聞きました。

「正直言ってとまどいは隠せませんが、就任した以上は全力を尽くして職務に取り組んでいきたいと思っています。個人の見解で言えば、エクステンションセンターの役割は高く評価しています。たとえば市民カレッジです。講座受講者の中には「福岡大学が実施している講座だから参加したんです」という方もいらっしゃいます。福岡大学のブランド力を一般の方が認め、信頼している証拠です。地域への貢献という点でも市民カレッジは画期的な活動とっていいでしょう。」

一方、正課外講座では、学内にあって利用しやすい、受講料も比較的安い、講義内容が充実していると、学生たちからは一定の評価を得ているようです。しかし、各学部のカリキュラムとどう連動し、どう区別できるか。まだその点がはっきりとされれていない気がします。山下学長は「学部独立」ということをよく言われますが、エクステンションセンターもアイデンティティを確立しなければなりません。学内で議論を尽くし、正課外講座の位置付けを明確にしていきたいと思えます。理系講座の充実、通信制やインターネットを利用した講座システムなど、エクステンションセンターとしての可能性は、まだまだすべて開拓されているとはいえません。これから

も現状に甘んじることなく前進していきたい。その一例として昨年開講の市民カレッジ「サクセスフル・エイジング」の講義内容が一冊の本にまとめられました。これからはこのような出版にも力を入れていきたいと思えます。



▲わかりやすく一冊にまとめられた「サクセスフル・エイジング」



エクステンションセンター長
本田 知宏教授
(工学部 機械工学科)
専門:熱工学 49歳



- ①簿記検定2級講座の授業風景。ノートに下ろす視線は皆真剣そのもの
- ②自習や勉強会に利用される教職課程資料室。現場のOB・OGも指導に訪れる
- ③エクステンションセンター受付。学生たちの相談に親身になって応える姿勢が、信頼感を生んでいる

▼びっしり赤線の引かれた教員講座関係の資料やテキスト



▼教職課程資料室は教書など役に立つ資料が充実



▲教授の講義に熱心にメモをとる学生



私がおすすめます!

陣川 桂三教授(人文学部)

「福大生は教職に対する関心が大変高いですね。私はこの講座を福岡大学の教育学部だと考えています。OBの現役教師も話に来ますし、本当に有意義な講座ですよ。また受講生にはA棟の802教室(教職課程資料室)も利用しながら頑張ってください!」

教職カリキュラムと連携した濃い内容!

教員講座

本講座は教職課程カリキュラムと連携しながら、教育への情熱と見識、的確な指導技術を持つ教員の養成を目指します。具体的には、校種別・教科別の指導法をはじめ、教育法規、教育時事の対策など、現代教師の資質として必要な内容をすべて網羅しています。講師は本学の専任講師のほか、小・中・高の現役教師も予定しています。

- 募集要項**
- 募集人員 ● 制限なし
 - 対象 ● 教職課程履修者
 - 来年度は、平成16年9月頃開講予定です。

▼遊びながらサッカーの楽しさを知る



私がおすすめます!

2005ユニバーシアード日本代表監督
日本サッカー協会公認S級コーチ
乾 真寛助教授(スポーツ科学部)

「2002W杯後の今年から、日本サッカー協会では“草の根の普及”をテーマに積極的な活動を行っています。これは将来のために指導者育成・ユース育成を代表選手強化と連動して行うものです。キッズ・サッカーはユース育成と指導者育成を兼ね備えた教室。子どもたちにはサッカーとの出会いの場、そして大人たちには地域のサッカー指導者育成や再教育の場として、ぜひ活用していただきたいと思えます!」



▲公認サッカー指導員の実践型養成プログラムとしての一面も

遊びながら体感するサッカーの楽しさ!

キッズ・サッカー教室(福岡大学市民カレッジ)

キッズ・サッカー教室は、福岡大学サッカー部の監督・コーチ陣が直接指導して、サッカーをプレーする楽しさ、わかる、できる楽しさを体感する市民カレッジです。募集対象は小学1年生から4年生。ここでサッカーの魅力を知り、選手として活躍することを折っています。女子もOK! 女子指導者もいるので安心です。

- 来年度は平成16年3月から募集を開始する予定です。お楽しみに。
- 今年12月26日(金)・27日(土)の15時から17時まで本学サッカーグラウンドで同教室を開講します。ぜひ見学してください。

簿記検定2級講座

企業が求める即戦力を身につける!

株式会社社会計、製造業会計を対象にした簿記2級講座。今後、就職活動をするうえで、資格として必ず役に立つはず。全業種・全職種で必要とされますが、金融系・シンクタンク系企業、総合商社では特に必要とされます。また職業会計人(税理士・公認会計士)を目指す際の最も基礎となる講座です。

講義日程 春コース(平成16年)

3月	26(金)・30(火)
4月	2(金)・6(火)・9(金) 13(火)・16(金)・20(火) 23(金)・27(火)・30(金)
5月	7(金)・11(火)・14(金) 18(火)・25(火)・28(金)
6月	1(火)・4(金)・8(火) 12(土)

講義時間は、18:00~21:10

募集要項

- 募集人員 ● 制限なし
- 対象 ● 日商簿記検定3級取得者、または同等の知識を有する者に限ります。



私がおすすめます!

2003年6月 簿記2級検定合格
商学部3年 岩井 千尋さん

「私、楽器店の店長になりたくて。店長だと簿記2級は絶対必要だと思って受講したんです。先生がとても熱心で、講義の前後もいろいろなアドバイスをしてくれますし、学内だから近いし、安いし、言うことなして。勉強はとっても辛いけどやりぬくだけの価値はありますよ。この講座で得た知識は絶対役に立ちます!」



キャンパスライフ特集 **がんばれ、ボランティアグループ**

今年も残り少なくなりました。2003年あなたはどけだけの人と、笑顔や優しさを分かち合うことができましたか。今回はこの季節に、心温まる学内のボランティアグループ特集。あなたの近くにもがんばっている人がいます。



① きらきら輝く自然な笑顔。これがボランティアの本質なのかもしれない
② 子どもたちの遊びは体力勝負。細心の注意を払いながら
③ 3、4年生は今日で引退。子どもたちがお別れ会を開いてくれた
④ いつのまにか子どもたちと同じ視線になっている

ボランティアサークル愛好会

笑顔が輝いている、活動を通して磨かれている

約束の時間の5分前に到着したのに、もうほとんどのメンバーが活動を始めていました。「ボランティアサークル愛好会」。1969年に結成された、福岡大学で最も古いボランティアのためのグループです。今日は福岡市立福岡中央養護学校での活動。月2、3回土曜日の午後に行っている「感覚統合遊びの会」のお手伝いです。この会は知的障害を持つ子どもたちのお母さんを中心となって結成された会。子どもたちの感覚をバランスよく統合させて生活を営みやすくすることを目的としています。「遊びの会」としては、大切にしたいのは子どもたちと遊び、ふれあいながら訓練していくこと。サークルの学生たちは「感覚統合」について学びながら、その実践として子どもたちと遊びます。代表の方にお話を聞くことができました。

「子どもたちが大きくなると、遊ぶにしても私たちが体力的についていくのが大変なんです。福岡大学の学生さんたちは体を使って思いきり遊んでくれるから、とても助かります。みんな優しく、それが子どもたちにも伝わっているようですね。」

いろいろな遊び道具がそろった室内や、屋外のグラウンドで、サークルのメンバーが子どもたちと元気にふれあっています。忙しい合間をぬって、幹事の児玉裕君（人文学部2年）に話を聞きました。

「高校の時からボランティアをしていましたから、もう活動が生活の一部になっています。やるのが当たり前というか、特別に（ボランティアと）意識したことはありません。」

サークルのメンバーは現在71人。基本的には



童心にかえって子供たちとたわむれる

養護班・老人班・障害班に分かれ、主に日曜日に活動を行っています。今日はその基本活動とは別の、有志による活動です。この「感覚統合遊び」のリーダーである筒井千絵さん（経済学部2年）にも話を聞きました。「子どもが好きだから、いっしょに遊んでるって感じなんです。夏の集中訓練では会の方からいろいろなことを学びました。ほんと、私たちが教わっていることのほうが多いですよ。子どもたちからもね。」

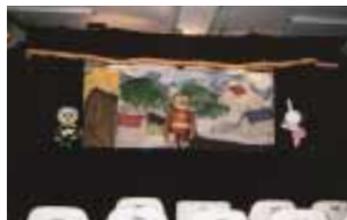
義務感なんか全然ない、ボランティアをしてみるといい気分も、ほんとうに自然な感じで子どもたちと接しているサークルのメンバーたち。その笑顔がなにより印象的で、とても輝いていました。ボランティアとは自分自身を磨き高め、自分を幸福にする活動なのかもしれないですね。

ほかにもこんなボランティア



点訳愛好会

目の不自由な方のために書物などを点訳して配付している。写真は週に2回の活動の様子



児童文化研究会

福岡大学で最も古いサークルのひとつ。「自分たちが楽しめない子どもたちも楽しめない」をモットーに、人形劇や工作遊び、影絵、パルーンアートなどを行っている。12月20日、長徳寺でボランティアイベントを開催する



ラグビー部

平成15年10月11日、ボランティア活動に対し福岡県立古賀養護学校から表彰された

年に1度、9月中旬頃に県内の養護学校の草むしりや校庭掃除のボランティア活動を行っている。部員にとっても厳しい練習の合間の楽しい息抜きとか



総務委員会

総務委員会の学生による手作りのティッシュ

総務委員会厚生部が中心となって、学内のモラル向上活動を行う。春と秋のモラル向上週間には特に重点的に活動する。写真は秋のモラル向上週間「駐輪場でのモラル向上」をアピールするティッシュ配り

学園のうれしいニュースやトピックスを大公開!!

OBの沖野智彦さん、司法試験に合格!

今年の司法試験結果は11月2日に発表され、合格率2.58%という超難関を突破して、福岡大学OBの沖野智彦さん(法学部98年卒)が合格しました。沖野さんが司法試験を本格的に目指したのは大学2年の終わり頃。それまでは大学生活をエンジョイするつもりでスポーツサークルに入ったり、アルバイトをしたりという普通の日々だったようです。それがふとしたきっかけで「司法試験及び公務員試験研究部会」を受講しました。これは専門職のOB・OGなどの支援を受けて、基礎学力の充実から答案演習まで指導するもの。卒業生も利用できる専用室もあり、沖野さんは卒業後もこの専用室に毎日通って勉強を続けました。そして見事に合格したわけですね。「司法試験はあくまで本人のやる気次第。どこの大学出身だからということはありません。司法試験をひとつの選択肢として卒業までにじっくり考えていいと思います。思い立ったら、後は精神力勝負。試験勉強は長丁場ですから、



◀「プラス思考でいくのが合格のヒケツ」と語る沖野智彦さん

どれだけ緊張感を持続できるかがカギになります。福岡大学は専用室もあるし、卒業生も図書館を利用できますから、本気で目指すなら良い環境だと思いますよ」と後輩にエールを送る沖野さん。将来は弁護士として社会に貢献したいと、語っていました。

事故多発の現況を憂慮し交通安全セミナー開催

11月29日、本学831教室において「交通安全セミナー」が開催され約1,000人の学生が参加しました。本セミナーは近年、本学学生のかかわるバイク・自動車事故が多発しており、改めて交通事故についての認識と安全に対する注意を喚起するために開催されたものです。



全日本学生ヨット選手権大会で総合準優勝!

10月30日から11月3日にわたり新西宮ヨットハーバー沖で開催された同大会において、本学ヨット部はスナイプ級で優勝、470級で5位などの好成績を挙げ、総合で準優勝に輝きました。

柔道部、全日本学生柔道体重別団体優勝大会で初のベスト4!

本学柔道部は、11月2・3日に尼崎市で開催された同大会で、この大会初のベスト4の好成績を収めました。準決勝では中央大学に惜敗したものの、その健闘は大いにたたえられます。なお、大会優秀選手に窪山博紀君(スポーツ科学部4年)が選ばれました。

杉山哲君、鹿島アントラーズに入団

本学サッカー部でGKとして活躍中の杉山哲君(スポーツ科学部4年)が、J1の鹿島アントラーズに入団が決まり、10月27日に仮契約を結びました。杉山君は本学入学後4年連続して全日本大学選抜メンバーとして活躍。今年のユニバーシアード大会でも日本代表に選ばれ優勝に貢献しています。杉山君は「全試合に出場できることだけを考えて常に全力でプレーしたい」と抱負を語っていました。



◀晴れ晴れとした顔で。仮契約の席の杉山哲君

ガンバレ、杉山君!

「福岡大学学園通信FD」読者アンケートを実施

みなさんのご協力をお願いいたします。「福岡大学学園通信FD」では、より良い誌面づくりを目指し学生のみなさんご意見を聞くため、読者アンケートを実施しています。本誌が置いてある学内のスタンドに、アンケート用紙を用意していますので、回答のうえでスタンドの投入箱にお入れください。ご協力よろしくお願いたします。

皆さんご意見、ご感想を待っています。



附属看護専門学校戴帽式、挙行される

11月14日、有朋会館大ホールで附属看護専門学校の戴帽式が挙行されました。1年次生41人が副校長から看護帽を戴き、福岡大学病院看護部長から聖火を継承、看護の精神を胸に新たな一歩を踏み出しました。これから学生たちは、福岡大学病院などで2年半の看護実習を重ねます。



▲ホールの舞台上で看護帽を戴く。希望と情熱に輝いて

いよいよ本格的な新築工事へ薬学部棟(仮称)地鎮祭

平成17年1月31日(予定)の竣工に向け、薬学部棟の工事がいよいよ始まりました。10月16日に行われた地鎮祭には山田学長ほか本学関係者や工事関係者が出席し、工事の安全を祈願しました。



▲地鎮祭で刈初めの儀を行う山田学長



新たな交流協定校にフランスのブリーズ・パスカル大学 クレルモン・フェラン第

11月14日、本学とフランスのブリーズ・パスカル大学-クレルモン・フェラン第IIとの交流協定が締結されました。ブリーズ・パスカル大学-クレルモン・フェラン第IIはクレルモン・フェラン市にある学生数約16,500人の総合大学。文学・言語・人間科学、応用言語・商学・コミュニケーション、スポーツ科学、心理学・社会科学・教育学、自然科学、科学技術研究などの教育研究分野があり、大学院も有しています。今後、本学とは学生・教職員の交流はもとより、共同研究・セミナーなどを行う予定です。今回の締結により、本学との交流協定校は12カ国25大学になりました。

福岡大学法科大学院、正式に設置認可を受ける

11月21日、大学設置・学校法人審議会が法科大学院に関する答申を行い、27日に本学法科大学院設置が正式に認可されました。この正式認可により具体的な活動もいよいよ本格化。30日には福岡市天神・エルガーホールにて「福岡大学法科大学院」の進学説明会が開催されました。平成16年4月の開設に向けて、いよいよカウントダウン開始です。

大学全体の教育力向上を目指し授業アンケート実施

FD推進委員会および教務委員会は、大学全体の教育力向上を目指し、全教員(医学部を除く)を対象にした学生による授業アンケートを11月25日から12月5日にわたり実施しました。アンケートは現在回収中。細かな分析を行い、教育力向上のための有益な学生諸君の意見として活用していきます。

工学部 井上弘士併任講師「さがけプログラム」に採択される

「さがけプログラム」とは科学技術振興機構が、時代を先駆ける科学技術の芽を創るため、研究者個人の独創性を活かした自由な発想に基づく研究を推進することを目的として創設されたもの。19の研究領域があり、井上弘士併任講師は「情報基盤と利用環境」領域において、9月16日書面をもって採択されました。テーマは「安全で低消費エネルギーなプロセッサに関する研究」。研究期間は3年間で、期間中相当額の研究予算を支給され、テーマの更なる研究を機構により委嘱されます。

利用したもん勝ち！ 豊富な 教育施設 No.4

楽しく学べる、新しい発見がある。
福岡大学ならではの施設です。

■アニマルセンター

遺伝子改変動物をはじめ、10数種におよぶ動物の飼育室および手術室、実験室などを設置。飼育室(26室)では、各種動物の内外環境を一定に保ち飼育管理が行われています。また、手術室(5室)は、圧縮空気・笑気ガス・酸素用配管および吸引用配管を備えた専門設備で、X線照射室、暗室、測定室なども完備された本格的な施設です。

■医学情報センター棟

医学部の学生や卒業生および医療関係者に、常に新しい正しい情報を提供するための多角的な施設です。図書館医学部分館をはじめ視聴覚教育室、標本展示室、ゼミナール室、6年学習室などがあり、医学医療情報が、迅速に入手できるシステムを構築しました。「自修性を持った医師」を育てることを大きな目的とした本学医学部に相応しい施設です。

アニマルセンター



医学情報センター棟

■大学指定寮 民間経営下宿 共に遊んで共に暮らして、強い連帯感!

良好な環境・施設を維持し良心的に運営されているところを、本学が特に選定し、指定する大学指定寮。現在、男子寮16寮(566人収容)と女子寮8寮(212人収容)を指定しています。大学は指定寮審議会、寮生は寮友会、寮主は寮和会をそれぞれ設け、学生の寮生活の充実向上を図っています。

寮友会の委員長落合佳介さん(法学部3年)に話を聞きました。「学部を越えて先輩や後輩と裸でつき合えるのが寮の良さ。礼儀や協調性などもしっかり身に付きます。なんととっても安いし、大学に近い。団体生活の大切さと楽しさを学ぶには最高の環境です」。寮友会では、自主的に指定寮対抗スポーツ大会、研修会、七隈祭への行事参加などを実施し、寮生間の親睦と融和を図っています。



「もっと寮の良さをアピールして、仲間を増やしたい」と語る寮友会委員長の落合佳介さん



◀個室はなかなか快適そう

◀ノスタルジックな雰囲気の食堂。食堂のおばちゃんは寮生のアイドル!

■自修寮 自分を磨く!大学直営の男子学生寮

自修寮は、規律的な共同生活を通して自治独立の精神を養い、教養を高め、人格の形成に努めることを目的とした男子学生寮。福大前バス停のすぐ横にあります。寮では寮生による新入生歓迎会、研修会、寮祭のほか各種スポーツ大会などの行事も自主的にを行い、寮生同士の親睦を深めています。定員は46人で全個室。毎年、新入生を対象に希望者の中から選考された約20~30人が入寮できます。管理栄養士によるバランスのとれた、おいしい食事もある魅力です。

(平成15年度)

部屋	寮諸経費(月額)	
	室料・寮費・食費(2食付)	光熱費
洋室8畳	27,380円	6,000円

設備 風呂(大浴場)・トイレ(各階)・洗濯機は共同・電話(呼び出し)・ベッド・ロッカー・エアコン付

申込方法 合格通知とともに送付する「入寮申込書」に必要事項を記入の上、厚生課までお申し込みください。

条件 商学部第二部・医学部を除く入学者で、最低1年間在寮できる人。

■賃貸アパート 信頼のおける業者と密に連携して学生生活をサポート

■一般下宿 厚生課では、下宿連絡会と諸問題について話し合いながら、地域住民と共存できる環境作りなども行っています。

■間貸・アパート みなさんの負担を軽減するために、仲介手数料が無料になる物件や割引きになるものも紹介しています。

■国際交流会館 大学直営の国際的な交流会館

ここに住み、会館の学生委員長を務めている岡田裕史さん(法学部4年)に話を聞きました。

「外国の文化や風俗と毎日接することができる。ここは学内の留学エリアなんです。毎日の会話の中で生きた外国語を学べるし、留学生との交流を通して世界的視野を養うことができる。自分が大きくなった気がするんですね」。

国際交流棟は全個室。しかも男女学生が同じ棟内に住む、ユニークな学生寮です。また国際交流会館は、国際交流棟の他に合宿研修棟・管理棟を併設し、本学職員が皆さんのお世話をし、管理運営を行っています。



「外国の若い人とホソネで話せるのが嬉しい」と語る学生委員長の岡田裕史さん



◀モダンな外観が印象的な国際交流会館



▲機能的にまとめられた岡田裕史さんの個室

▶清潔感あふれる内装。ここを世界各国の言語が飛び交う

国際交流棟利用について

(平成15年度)

入館期間		4月から翌年3月までの1年間。ただし、1年間に限り延長を認めることがあります。	
個室	学部留学生 大学院留学生 交換留学生	入館費 室料 共益費	30,000円(入館時のみ) 27,000円(月額) 3,000円(月額)
	上記以外の 本学生	入館費 室料 共益費	33,000円(入館時のみ) 30,000円(月額) 3,000円(月額)
洗濯室		洗濯機(1回/150円) 乾燥機(1回/100円)	
キッチン		ガスコンロ(有料)	

電気・上下水道 使用料別途
(室料・共益費共に毎月20日に指定預金口座から引き落とし)

※日本人については、新入生を対象に入館を受け付けています。問い合わせ先:学部留学生、大学院留学生、交換留学生は国際センター事務室。それ以外の本学学生は厚生課。

出合いがある、熱い刺激がある。 みんなの学生寮を見直そう!

自分のライフスタイルを大切にできる時代。一人暮らしでなくちゃ、という方も多いと思います。だけど、ほんとは学生寮はもうと楽しい。そこには若い時でなければ感じとれない、何かがあり、毎日を弾ませるエネルギーがあるのです。ディスカバー！学生寮！

国際交流会館国際交流棟は、日本人学生と外国人留学生の混住による、モダンな学生会館。

編集後記

学園通信(FD)も第4号を迎え、あつという年の年でした。大変革の時代にあつて今回、役員改選もありました。新役員を紹介して、役員改選の激動する環境下での舵取り役として、その抱負や熱意を感じてほしいと思います。

戦争、テロ、殺人、誘拐など、今まで想像したことのないような事件事故が多発し、また、殺伐としたニュースが増えている中で、七隈祭やホームカミングデーの熱気は、巷間の憂いをしばし忘れさせてくれるものでした。

FDの制作に携わって感じる創作力と美的センスの貧困さを補い、支えてくれるのがOBであり、在学生であり、学内外すべての関係者の方たちです。取材や原稿依頼に、快く応じていただいていることが、FDの完成につながっていることを実感します。今年一年間ご協力いただいた皆様は、心からお礼を申し上げます。

来年は甲(さる)年。人まねにならず、おうし座にあるプレアデス星団、「昴」の七つ輝き続けるよう、また、集まって一つにまとまる「統一(すば)」を常に思い起こし、これからも丸とてFD創りに励みたいと考えています。

良いお年をお迎えください。
福岡大学 広報課
小田利郎氏を取材するFD編集スタッフと広報課員

編集・発行 福岡大学広報委員会

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1 TEL092-871-6631(代)
http://www.fukuoka-u.ac.jp/

福岡大学教員総数

平成15年5月1日現在の福岡大学、福岡大学病院、福岡大学筑紫病院の総教員数です。その内訳は、教授335人、助教授154人、講師109人、助手等366人。1,000人近い教員が学生の皆さんを教育し、地域や社会への貢献のために研究を行っています。また、名誉教授数は、平成15年6月30日現在で105人。知を創り、広め、伝えてきた本学のかげがえのない方々です。

数字で見る福岡大学

964

ちなみに、在学生総数は平成15年5月1日現在で21,637人(学部生20,969人・大学院生668人)。学生約22人に1人の割合で教員がいることになります。これはかなり進んだ少人数教育だと思いませんか。総合大学としてスケールが大きくなっても、皆さん一人ひとりへのきめ細かなフォローは忘れない。日頃言い続けていることが、事実としてこんな数字にも表れているのです。

